

新会館で決意も新たに

第57期通常総会を開催いたしました



新年度にむけて思いを新たに作る総会となりました

令和5年6月14日 内陸工業団地新会館にて 新年度事業計画など7議案を審議

当組合の第57期通常総会を6月14日開催いたしました。会場は完成したばかりの内陸工業団地新会館大会議室でした。

通常総会は1年の組合活動を振り返り、新年度に向けた事業を審議する重要な場です。今年5月のコロナ感

染症5類引き下げに伴い、久方ぶりとなる多数の来賓にご臨席を賜り、組合員企業の皆様のご出席による開催となりました。当日の会場には、歳原博幸理事長をはじめ役員、組合員様など約70人が出席いたしました。

また、6月に竣工したばかりの新会館のお披露目も兼ねた総会となり、決意新たに、晴れやかな総会となりました。

冒頭、歳原理事長は、1965年に県央地域の産業発展の礎として創立してからの当団地を振り返り、組合員企業の皆様と共に歩んできた歴史に感謝を述べました。コロナ禍、脱炭素化など近年の地域経済圏を取り巻く社会の変化に触れながら「これからも、地域経済発展の礎に」と新年度への意欲を語りました。

議事では「令和4年度事業報告並びに決算報告承認」「令和5年度事業

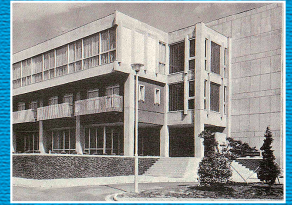
だんち



だより

第100号

2023年(令和5年)8月11日発行



旧団地会館の完成前から発行を続けて参りました「だんちだより」もお陰様で100号を迎えました。

計画並びに予算案承認」「経費の賦課及び徴収の方法決定」「借入金の高限度額決定」「役員報酬決定」「団地会館管理運営規約変更」「役員変更」の7議案を審議。全議案が承認されました。

令和5年度においては、新会館を新たな拠点に、引き続き、持続可能

な新たな工業団地の姿を模索し、環境マネジメントシステムに沿った活動や、組合員の福利厚生や安全衛生に関する事業、防犯・防災や交通問題などに取り組み、団地の抱える重要課題について、厚木市・愛川町と連携し柔軟で多角的な検討を進めて参ります。

新会館6月竣工

「自然と調和」基本理念体现



当組合が進めてまいりました、内陸工業団地会館の建て替え工事が完了し、新会館が6月に竣工いたしました。

築50年以上が経過し、隣接する会館駐車場の敷地に建造したものです。事務局機能と会議室を備えた平屋作りで、面積は402平方メートル。時代にあわせてコンパクト

な設計となりました。準備、工事にあたり、組合員企業の皆様にもご不便をおかけすることもございました。皆様のご理解とご協力に改めて感謝いたします。今後も、旧会館の解体、駐車場整備などを予定しております。引き続きご理解、ご協力の程、よろしくお願

上部…組合の基本理念「自然と調和する公害のない緑豊かなモデル工業団地」に寄り添う、木の意匠を取り込んだ建物

- ①大ホールにはプロジェクター設備など完備
- ②会館玄関正面には新設したパネル



事務局より

新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けていた我が国の経済活動も、5類移行に伴う行動自粛要請解除により活性化が期待されております。一方、ウクライナ情勢などによる国際情勢の不透明感の影響は否めません。

当工業団地を取り巻く状況としては、圏央道の整備など交通インフラ優位性が高まったこと、またインターネット通販の急拡大など消費者行動の変化により、大型物流施設の進出が継続。交通量増加による影響が新たな課題として顕在化しています。

こうした中、新会館が完成し、今年度の総会を開催させていただくことができましたこと、改めて皆様に感謝いたします。

事務局一同、組合の発展と組合員企業の皆さまのご繁栄のため、努力を続けますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

内陸工業団地軟式野球大会結果



Aクラス【準優勝】AGC(株)A



Aクラス【優勝】(株)トーモク



Bクラス【優勝】(株)テーオーリネンサプライ
【準優勝】ダイヤボンド工業(株)

当組合恒例の軟式野球大会が6月4日から7月16日にかけて開催されました。白熱の試合の結果、今年度の優勝・準優勝が決定いたしました。

Aクラス
【優勝】(株)トーモク
【準優勝】AGC(株)A

Bクラス
【優勝】(株)テーオーリネンサプライ
【準優勝】ダイヤボンド工業(株)

個人賞

Aクラス
【最優秀選手賞】仲里 健吾(株)トーモク
【敢闘賞】内田 希望(AGC(株)A)

Bクラス
【最優秀選手賞】倉林 昌也(株)テーオーリネンサプライ
【敢闘賞】野口 悟(ダイヤボンド工業(株))